

平成 25 年度 北上市景観賞

【北上市景観賞】

石田邸 （和賀町後藤）



田園地帯の古民家の元の形を残しながら、居住性能を高めていくという新たな再生の形を示してくれた建築物です。屋敷林をそのまま残し、今までの面影を壊さないよう配慮された造りは、農村景観の先駆的な取り組みであるとの評価を受けました。

北日本銀行北上支店 （新穀町）



街の中心地に位置する銀行として周囲の商店街や通りとのバランスを考慮して3階部分をセットバックし、前面をガラス張りにしたことで圧迫感を感じさせない開放的な建物になっています。親しみやすい銀行として景観への配慮が感じられます。

サイトウデンタルクリニック （大通り）



都会的な印象を与える造りでありながら、既存の建物とのバランスが良く、植栽をうまく利用して建物の圧迫感を抑えるなど、景観への配慮が見られます。周囲の建物との調和がとれた街並みを造り出すモデルとして評価されました。

田郷医院 （さくら通り）



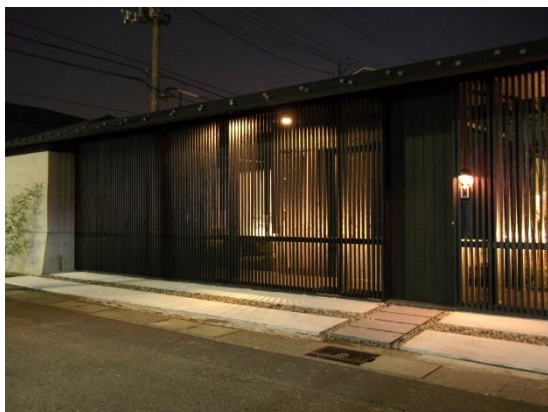
一見すると住宅にも見える洗練された建物で、周辺の住宅地にうまく溶け込んだ景観を創り出しています。長いスロープを覆う深い軒、格子を利用した和風の入口の造りが来院する患者さんだけでなく、通りを歩く人々へも癒しと安心感を与えてくれます。

松浦歯科医院 （青柳町）



建物の北側と南側で2つの顔を持ち、それぞれに違う表情を通りに与えてくれる、開放的で親しみやすい造りになっています。夜になると、エントランスの壁にあるガラスブロックからの明かりが程良い光を放ち、周辺の通りに優しい印象を与えてくれます。

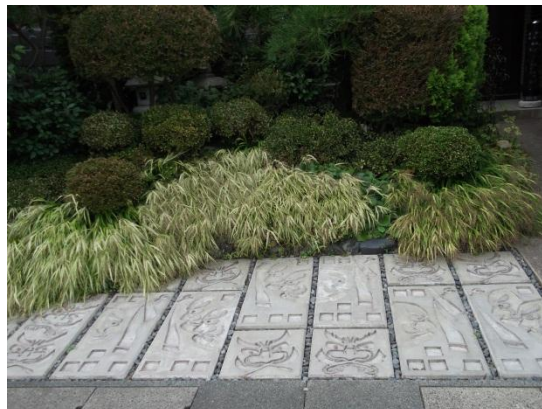
余白の杜 （青柳町）



繁華街にほど近い立地に考慮し、格子をうまく利用した造りが評価されました。薄暗くなると、家の中から放たれる光が格子の隙間から通りを照らし、通りを歩く人に安心感を与えるような透ける空間を演出しています。元々あった住宅のイメージを取り入れながらも、塀の周りの植栽に竹を選ぶなど、周囲の通りへの圧迫感をなくす工夫も景観への配慮が感じられます。

【審査員特別賞】

鬼剣舞モニュメント （本通り）



被災地、陸前高田市で加工された材料を使用し、鬼剣舞をモチーフにしたモニュメントを作成しました。鬼剣舞の毛采^{けざい}を庭に植えられた風知草^{ふうちそう}で表現するなどの工夫が感じられます。庭の敷石という小さなエリアではありますが、道路との境目も景観の要素であることを気づかせてくれる作品であることから、審査員特別賞に選ばれました。